

令和8年度 青木中学校の取組み(青木村5重点に関わって)

重点	内容(・継続している取組 ◎本年度の重点的な取組み)
①保小中 一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「あおきっ子教育ポイント5か条」を基本にした実践(挨拶 家庭学習 親子情報モラル講演会) ◎「地域に学ぶ私の生き方探究」小中連携カリキュラムの作成 <ul style="list-style-type: none"> 加配教員を活用し、小中の職員合同のプロジェクトチームによる検討 ・人権教育に関わる合同職員研修(R3年度より城西地区と合同で実施、7月) ・学校保健に関わる小中合同職員研修(8月) ◎特別支援教育における小中連携(4月の合同研修、移行支援会議や授業参観等) ・地区子ども会、地区生徒会、合同下校訓練、PTA地区懇談会共同開催(年1回合同) ・保育研修への参加 ・2年生徒の保育園実習や保育園との交流
②多様な他者 や自然との 関わり	<ul style="list-style-type: none"> ◎「自分の未来を自分の力で切り拓こう～学校って意外と楽しい!」を目指した諸活動の推進 魅力ある授業づくり 自己発揮できる集団づくり グローカルな探究活動づくり ◎「地域に学ぶ私の生き方探究」総合の時間の充実とカリキュラムの検討 <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自ら問いをもち、とことん探究し尽くす学びの場の提供 村の自然、人々の生き方、歴史に触れ、自分の生き方を考える(五島慶太翁に学ぶ日) 伝統芸能の継承(各地域の伝統芸能、義民太鼓)と持続可能なシステムの検討 ◎「課内クラブ」の設定(アイリスセミナーと融合し、全校生徒がやりたいことに取り組む時間) ・中学生の地域貢献を視点とした防災講座(多様な災害の想定)。 ・キャリア教育の充実 職場体験学習、進路講話、地域施設の活用、青木村議会の傍聴 ・はつらつネットワークの活用、地域と共にあるPTA活動を創造
③学力・体力 向上	<ul style="list-style-type: none"> ◎魅力ある授業作り 「生徒が自ら課題をもち、自分の言葉で伝え合い解決する喜びを味わえる授業」の研究 授業評価アンケートをもとにした授業改善研修(1,2学期) ◎ALTを活用した英語教育カリキュラムの作成 <ul style="list-style-type: none"> 中学1年生の東京英語学習(TOKYO GLOBAL GATEWAY) 国際交流 ICT(WorldClassroom)活用によるオンライン交流(年2回) ・朝の時間を活用した自己解決型「セルス探」・「漢字道場」による基礎基本の定着 ・一人一台端末や「eライブラリ」などのオンライン教材の活用 ・自己管理能力の育成(スケジューラーの活用指導) ・授業力向上研修、スキルアップ授業研修、ICTの授業における活用のための職員研修の実施 ・「NRT」(全学年)、「全国学力学習状況調査」(3年)、実施及び結果の検証→授業改善 ・課内クラブの時間を設定し運動したい生徒の機会の確保 ・保健体育授業で行う体力向上への取組み
④子どもと 向き合う 時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◎日課変更「ノー部活デー(水曜日)」「ノー清掃デー(週2日)」を設定 ・期末テストの2日開催とゆとりある返却開始日の設定 ・教育相談の時間の活用(年2回、生徒全員と担任の相談時間) ・生徒理解の時間を設定し、課題だけでなく生徒のよさを共有(職員会、職員朝会) ・諸会合の精選(行事の反省・立案、着実な見直し) ・教職員の勤務時間管理意識を高める(計画的な勤務の割り振り) ◎教職員数減をふまえ、小中の専科教員の兼務検討
⑤一人一人を 大切にする 教育	<ul style="list-style-type: none"> ◎インクルーシブ教育に係るT.T活用・少人数学習・個別指導のあり方研究 特別支援コーディネーターによるインクルーシブ教育の推進と研修 ・生徒理解、発達障がい、不登校等に関する教職員研修 ・個に寄せる進学、キャリア教育 ・「こまゆみルーム」の活用 ・適応、特支、生徒指導に関わる係会・支援会議の充実(予防開発的支援、対処的支援) ・定期的に行う諸検査と、職員の観察による生徒理解をもとにした支援のPDCA確立 ・個別の支援計画、指導計画の作成、見直し、活用 ・スクールカウンセラー、外部機関との連携 ・人権月間(年2回、アンケートの実施、校長講話、人権学習、人権集会)の実施 ・道徳教育の推進(全職員で取り組む道徳、全体計画の作成、指導資料の共有化) ・図書館教育、食育の推進(健康で心豊かな生徒の育成)